

本セミナーのねらいについて

(内容)

1. 本セミナーの位置づけについて
2. 本テーマを選定した理由とは

地域包括ケアを推進するための3つの柱

ー本セミナーの位置づけとはー

研究開発センター シンポジウム（H28～）

【目的】国の施策の動向や方向性、
基本的考え方などを学ぶ

【H30実績】10/6開催

テーマ「地域包括ケアの深化に向けた
諸課題と対応策」

講演者

- 田中 滋：県立大学理事長
- 迫井正深：厚労省審議官
- 斉藤正身：医療法人真正会理事長
- 野崎伸一：厚労省生活困窮者
自立支援室長
- 川越雅弘：県立大学教授

参加者：約350人



地域包括ケア推進セミナー （H30～）

【目的】地域包括ケアに関わる関係者
の実践力を高める

【H30実績】

第1回（7/27開催）

「在宅医療・介護連携の展開プロセスを学ぼう！」参加者：107名

第2回（11/24開催）

「ファシリテーション力を高める」
参加者：65名

第3回（2/21開催予定）

「自立支援のための方法論を学ぶ」

地域包括ケアを推進するための ネットワーク会議（H30～）

【目的】地域資源の開発を通じて実践
者への支援体制を強化する

【H30実績】

第1回（9/4開催）

今後の進め方に関する打合せ会議

第2回（11/30開催予定）

「住民の困りごと/支援ニーズを知ろう」
参加予定者：92人

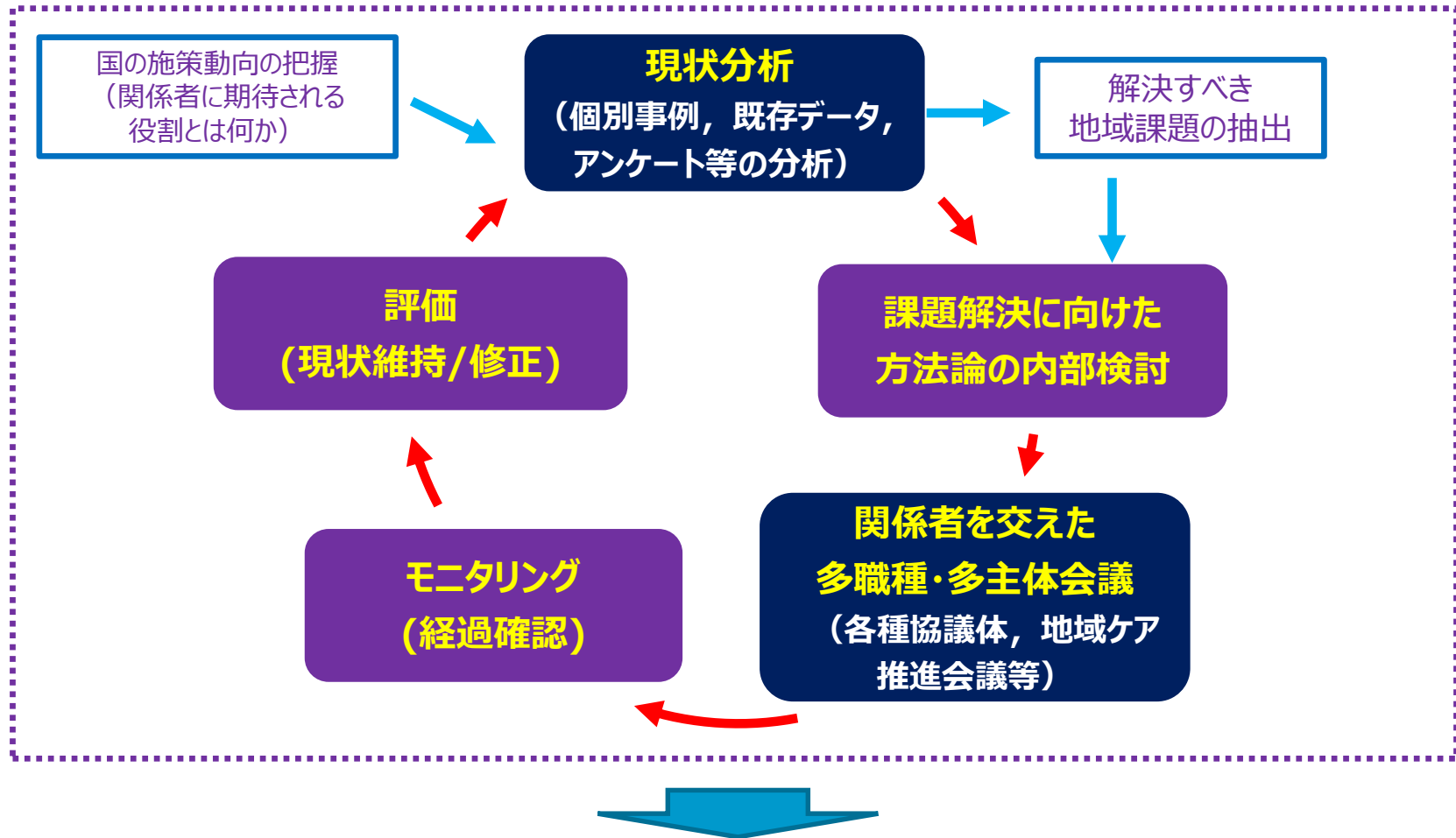
第3回（H31.2開催予定）

「企業・組織の活動内容を知ろう」

今後の展開

- 県の協力（後援など）を受けて、県内市町村や関係団体に本学の取組みを広く周知していく。
- 3つの柱の実践を通じて、今後、県内市町村への個別支援に展開していく。

今回のテーマの選定理由とは



地域課題力を向上させるために必要な要素とは

1. 地域課題を把握する力（⇔地域課題に関する情報提供，データ分析結果の紹介などを行う予定）
2. 地域課題を関係者間で共有する力（⇔ファシリテーション力強化に向けた研修を行う）
3. 各地の事業展開プロセスを学び，自地域で展開する力
（⇔先進事例の紹介，市町村等での直接支援を行う予定（希望される地域等に対して））